

令和6年能登半島地震

被害認定調査派遣報告

令和6年1月22日（月） 税務課

1 派遣先・派遣期間・派遣人数

- ・派遣先：石川県志賀町
人口18,267人 7,864世帯 (R5.11末)
面積246.76km²
- ・派遣期間：令和6年1月14日(日)
～1月21日(日)
- ・派遣人数：総務部税務課 主事 1名
- ・派遣枠組：総務省「応急対策職員派遣制度」
愛知県を志賀町の支援団体として決定
県内15市の職員を第1陣として派遣



2 支援業務内容

○住家の被害認定調査業務

災害により被災した住家の被害の程度を調査し、その結果に基づき全半壊等の認定を行います。

この認定に基づき罹災証明書を交付するので、生活再建のためにもなるべく早く調査を行うことが求められています。

調査体制

1班3人とし10班を編成

愛知県からの派遣職員と志賀町職員で班を編成

調査対象件数

約2,500件（1月16日時点の罹災証明書申請件数）



3 スケジュール

- 1月14日（日） 豊田市役所を出発 ～ 金沢市（宿泊地）到着
- 1月15日（月） 志賀町役場にて全体ミーティング
実地で調査手順の確認を行い、調査を開始
- 1月16日（火） 1班1日10件のペースで被害認定調査を実施
- ～1月20日（土）
- 1月21日（日） 金沢市を出発 ～ 豊田市役所へ帰着

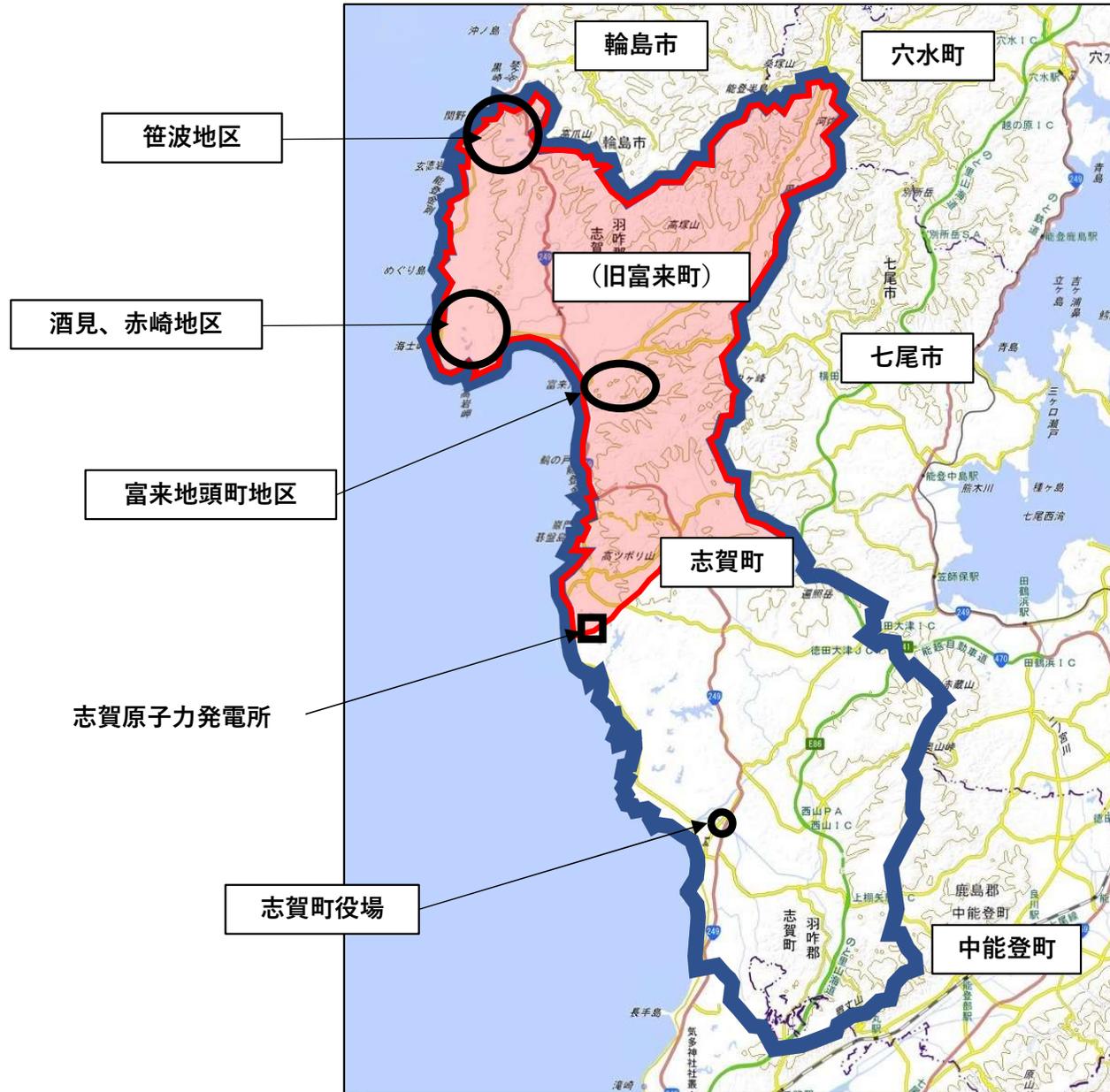
（以後、第2陣として別の県内15市の職員が調査支援を継続）

4 活動内容（1月15日）志賀町役場

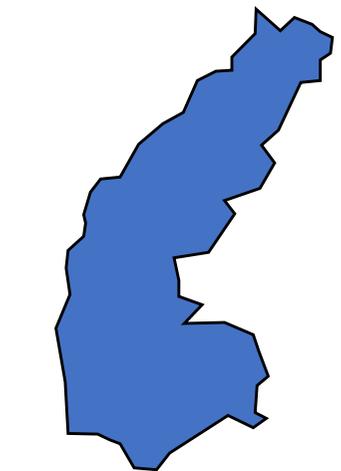


役場ロビーにて、志賀町職員から調査概要の説明

4 活動内容（1月16日～）志賀町各所



志賀町 (246.76km²)

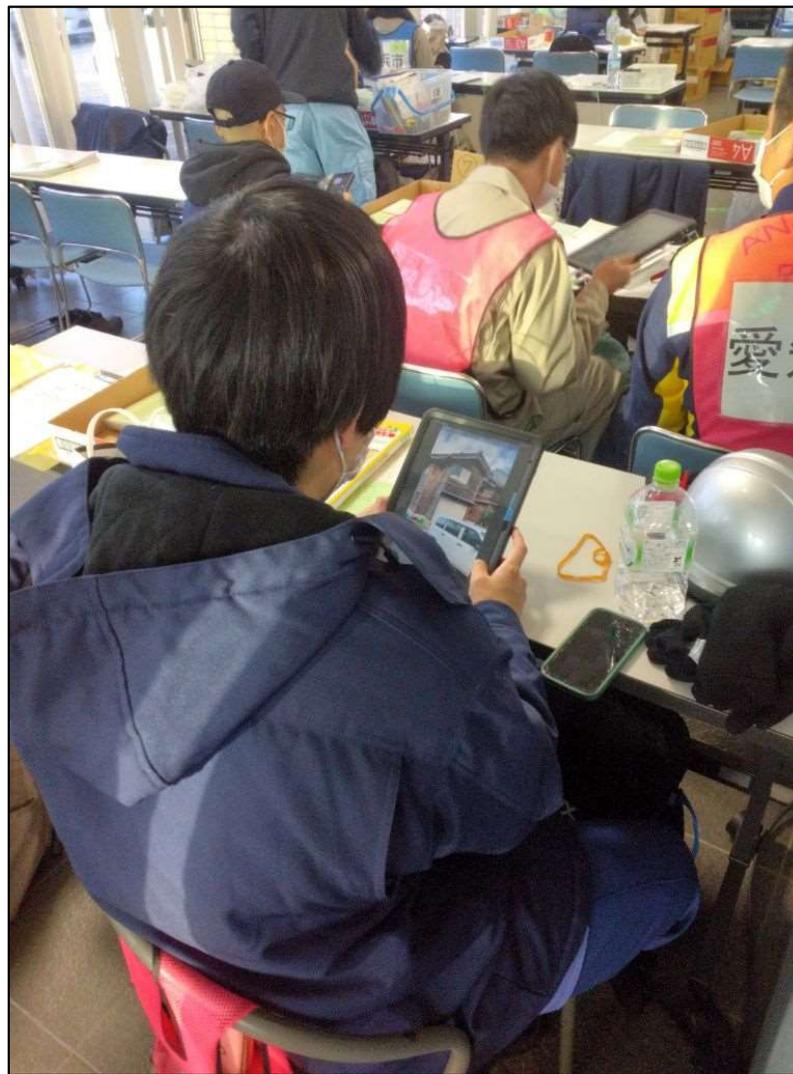


刈谷市 (50.39km²)

4 活動内容（1月16日～）志賀町各所



現場にて建物の傾きや損傷個所を確認



調査用タブレットに現地で入力した内容を役場で再確認

4 活動内容（1月16日～20日）志賀町各所



道路も随所で破損が見られる



道路が陥没しカーブミラーが傾いている

4 活動内容（1月16日～20日）志賀町各所



志賀町役場の駐車場



役場支所の入口

5 今後の派遣予定

区分	日程	派遣市町村
第1陣	1/14~1/21	豊田市、岡崎市、一宮市、豊橋市、春日井市、安城市、刈谷市、豊川市、西尾市、小牧市、東海市、稲沢市、半田市、蒲郡市、知多市
第2陣	1/21~1/28	瀬戸市、大府市、江南市、尾張旭市、田原市、あま市、新城市、北名古屋市、碧南市、知立市、日進市、犬山市、清須市、長久手市、みよし市
第3陣	1/28~2/4	東浦町、豊明市、常滑市、津島市、愛西市、武豊町、弥富市、岩倉市、幸田町、高浜市、東郷町、蟹江町、扶桑町、阿久比町、南知多町
第4陣	2/4~2/11	美浜町、大口町、大治町、豊山町、飛島村、設楽町、東栄町、豊根村、豊田市、岡崎市、一宮市、豊橋市、春日井市、安城市、刈谷市
第5陣	2/11~2/18	豊川市、西尾市、小牧市、東海市、稲沢市、半田市、蒲郡市、知多市、瀬戸市、大府市、江南市、尾張旭市、田原市、あま市、新城市
第6陣	2/18~2/25	北名古屋市、碧南市、知立市、日進市、犬山市、清須市、長久手市、みよし市、東浦町、豊明市、常滑市、津島市、愛西市、武豊町、弥富市

※第4陣では納税課職員を派遣予定

被災地、被災者の支援に
そして、早期復興の一助に